

2022年1月5日
公益財団法人日本ハンドボール協会

平素より当協会活動には格別なるご配慮とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ヨーロッパへ遠征中の男子日本代表チームは、昨日現地でのPCR検査の結果、計10名の新型コロナ陽性者が確認されたため、1月5日から始まる予定の国際大会（スペイン）への参加並びにヨーロッパ遠征を中止、陰性かつ無症状が確認されたメンバーのみ急遽帰国することとなりました。また、この事態を踏まえて1月18日から始まる第20回男子アジア選手権への参加を辞退することといたしました。

<経過>

- 12月27日 ポーランドにて選手1名の発熱者発生、即刻隔離（個室待機）
 - 28日 発熱者（1名）解熱、自室にて抗原検査の結果は陰性（個室待機継続）
 - 29日 夜に発熱者のPCR検査実施（個室待機継続）
 - 30日 前日の検査結果、陽性と確認＝10日間の隔離
夜に選手・スタッフ全員にPCR検査実施
 - 31日 前日の検査結果、2名のうち選手1名の陽性を確認＝10日間の隔離、
午後に前日陰性だった選手1名にさらにPCR検査実施、夜に陽性を確認
＝10日間の隔離
 - 1月1日 3選手とも軽症状もしくは無症状
新たに選手1名が発熱
 - 2日 新たに選手2名が発熱
 - 3日 新たに選手2名が発熱、夜に陽性者以外全員のPCR検査実施
 - 4日 朝に新たに選手1名が発熱
前日の検査の結果、スタッフ1名を含む7名の陽性を確認＝10日間の隔離
- ※上記について、在ポーランド日本国大使館に逐次報告、連絡を取りながら指示に従って進めて参りました。

<今後>

1月3日のPCR検査の結果、陰性者かつ無症状者については1月6日以降速やかにポーランドより帰国、3日間の強制隔離と11日間の自主隔離（当協会が用意する宿泊施設）に入る予定です。

ポーランドで陽性が確認された10名については、現地での法に則り隔離期間を過ごしたのち帰国予定としています。なお、スタッフ2名がポーランドに残って、残留選手の今後の対応にあたります。

以上